

【国指定・重要文化財（建造物）】

きゅうますだけじゅうたく

旧増田家住宅

おもて

なかえ

いしぐら
石蔵

よくしつべんじょ

つけたり

せっかんとう

浴室便所

附

石敢當

平成26年12月10日指定



- 所在地 薩摩川内市入来町浦之名77
- 所有者 薩摩川内市
- 特徴

入来麓伝統的建造物群保存地区にある旧増田家住宅には、明治6(1873)年頃に建てられたおもてとなかえ、大正7(1918)年に建てられた石蔵、大正期につくられた浴室便所があります。主屋はトコのあるザシキがあるおもてと、土間とダイドコロがあるなかえを連結した伝統的な分棟形式です。おもてとなかえは大きさや位置をほぼ揃えており、この点が近世の武家住宅にみられる形と異なっています。近世の武家住宅の形式を継承しながらも、平面構成や規模の変化が近代への移行を示唆している点で価値が高く、大正期までに整えられた屋敷構えも含め、入来麓伝統的建造物群保存地区を代表する近代住居として深い意義があります。